

日本一周 分割走破の旅

日本縦断 日本海ルート最終章 【鹿児島 → 福岡】 2021/11/09～11/14

Report No.18



日本縦断 日本海ルート最終章『前半は雨、雨、雨。それでも海沿いの道は気持ちがいい...』

日本縦断/日本海ルートで取りこぼした長崎県と佐賀県を走破した、鹿児島から福岡までの旅の記録です。

【プロローグ】H27年2月に鹿児島空港をスタートし、分割での日本縦断を開始しました。日本海側のルートを4分割で走破し、H29年6月に宗谷岬にゴールしました。日本海側を最短ルートで宗谷岬を目指し、九州の長崎県と佐賀県を通過することはありませんでした。ルート上には、世界文化遺産登録された天草の崎津集落や市電の走るレトロな長崎、日本本土最西端の神崎鼻など見どころがたくさんあります。

今回、鹿児島空港から熊本県、長崎県、佐賀県、福岡県と九州を北上し博多をゴールとしました。6日中4日が雨天でした。特に、2日目は終日雨にやられました。この旅の一月前に、足ならしに伊豆半島を一周しましたが、その時も2日目はずっと雨でした。今思うと伊豆半島で雨に降られて、よかったと思っています。久しぶりのロングライドでコンディションが悪いとやはりめげてしまいます。前半の悪天候、中盤の坂ばかりの長崎と苦戦しつつもなんとかほぼ予定通り、500kmを走ることができました。当初の日本縦断（日本海ルート）を達成し、目下太平洋側のルートを日本縦断中です。コロナで頓挫していますが、いつの間にか「日本縦断」が「日本一周」になっていました。笑。



日本本土最西端！
日本一周サイクリストの聖地「神崎鼻」。モニュメントの先には青い海が。



ちくわうどんは美味でした。

ボートレースチケットショップ松浦に併設した食堂にて。場違い感が思い出に。



平戸大橋をバックに。

平戸と本州を結ぶ全長880mの大橋。この後、松浦電鉄沿いを唐津まで。

【旅のルート】：

日本縦断の日本海ルートで未走破の長崎県と佐賀県を組み込み、H27年の日本縦断のスタート地点・鹿児島空港よりゴールの福岡県博多駅を目指すことにしました。前半長崎までは上り坂の連続でした。今回のライドの特徴は、なんとと言っても1日当たりの走行距離が短いことです。正直、どこまで走れるか自信がなくて行けることろまで行くと言ったスタンスで、スタートを切りました。



- 1日目 (11/09) : 鹿児島空港→(R504,R328)→出水市 **【70.88km】**
- 2日目 (11/10) : 出水市→(R3号,R389号)→蔵之元港→(🚢/30分)→牛深港→(R266,R389)
→天草下田温泉 **【89.22km】**
- 3日目 (11/11) : 天草下田温泉→(R389)→鬼池港→(🚢/30分)→口之津港→(R251,R34)
→長崎市 **【95.46km】**
- 4日目 (11/12) : 長崎市→(R206,R202,R205,R35)→佐世保市 **【66.51km】**
- 5日目 (11/13) : 佐世保市→(R204,県道18)→神崎鼻→(県道18,R204)→伊万里市 **【99.40km】**
- 6日目 (11/14) : 伊万里市→(R202)→福岡市 **【78.64km】**

2日目と3日目はフェリー(共に30分の所要)を使っでの移動がありました。短時間でも船の旅は旅情をそそります。

1

鹿児島空港→出水市

三度の鹿児島。初日から雨…。

2021年11月9日 火曜日：

曇り時々雨

Dst:70.88km

Av:19.2km/h Mx:46.0km Tm:3時間40分44

東京は午前中、予報通り雨。最寄り駅まで雨具を着るのは避けたいので、傘をさしてロードバイクを押し歩き駅に向かいました。始発の5:02発の電車に乗り羽田へ。寝ぼけていたので、思った以上に輸行に手間取りました。発車15分前ようやく輸行袋に収納を完了しました。

途中、品川で京急に乗り換え、羽田に無事到着しました。手荷物カウンターでロードバイクとリアバック(14.2kg)を預け、軽い朝食を済ませ、保安検査場に行くと長蛇の列でした。8月の小田急線刺傷事件の影響か、かなり厳しい検査が行われていました。上着はもちろんTシャツ一枚にされてしまいました。

8:26、鹿児島空港に向け無事離陸しました。機内は思いのほか空席が目立ちました。



鹿児島空港は曇り、気温は東京と同じ感じでした。平成27年2月、鹿児島空港から日本縦断をスタートした思い出深い空港です。今回は、熊本、長崎、佐賀を経由して福岡まで走ります。

10:48、鹿児島空港を出発してしばらくすると、国道504号はのどかな田舎道になりました。さつま町まで一本道のはずでした。永野辺りで、国道504号は自動車専用道路となりました。スマホのナビで確認し、直進することにしました。車の往来は全く無く、標識もなくさつま町への正しいルートなのか自信がありませんでした。観音滝の辺りで道に迷い、トラックの運転手さんに聞いて、何とかさつま町にたどり着きました。縦断中も、突然国道がまさかの自動車専用道路へ、あるあるでした。

さつま町は、思った以上に小さな町でした。昼休憩をと思っていましたが、出水市への国道328号への分岐に来てしまいました。仕方なく峠に向かいました。紫尾峠は、ガラガラ坂が続き、おまけに雨が降り始めました。曇りのはずでは…。途中

一度だけ、給水ただけで、鹿児島空港から出水市まで60kmを走ってしまいました。昼食は出水市で遅めに取ることになってしまいました。宿には16時頃、到着しました。何とか無事1日が終わりました。明日は、天草まで。1日中、雨の予報でした。…。

2

出水市→天草下田

終日雨のライド...

2021年11月10日 水曜日：

曇り時々強い雨

Dst:89.22km Dst2:160.10km(積算走行距離)

Av:17.2km Mx:43.8km Tm:5時間11分02時

7:08、出水市の宿を出発しました。終日、雨の予報で雨具フル装備で出発しました。国道3号線から国道389号へ、蔵之元港を目指しました。途中、本降りの雨となっては晴れの繰り返しでした。長島に近づくとのかな棚田が山側の斜面で見れました。



蔵之元港には、9:20頃到着しました。何もなかったところでした。朝食に暖かい蕎麦でもと思っていたのですが、食堂などはなく、仕方なく自販機でスポドリを買いました。10時発のフェリーに無事乗船できました。

対岸の牛深港まで30分の船旅でした。車数台に乗客は疎らでした。牛深は大きな町でした。ようやくコンビニで朝食を取りました。この日の宿泊地、天草下田温泉までは41kmほど。途中、崎津天主堂、大江天主堂に立ち寄り14時半前には到着しました。途中、何度も土砂降りとなり、心が折れそうになりました。雨のライド、何一つ良いことはありません。



崎津天主堂は海岸線に立ち、漁村の中に溶け込んでいました。大江天主堂は丘の上にあります。共に規模は小さく、のどかな場所にひっそりと立っていました。雨具を脱ぐのが大変なので、両天主堂での礼拝堂への見学は諦めました。次回のお楽しみとしました。天草下田温泉には素泊まりでの宿泊でした。コンビニもなく温泉街の酒屋で買ったパンとカップラーメンが夕食でした。とほほです。

3

天草下田 → 長崎

長崎は今日も雨だった♪

2021年11月11日 木曜日：

曇り時々雨

Dst:95.46km Dst:255.57km(積算走行距離)

Av:18.0km Mx:48.6km Tm:5時間17分58

7時14分、天草下田の宿を出発。宿のご主人から旅のルートなどを聞かれ宿を後にしました。



天気予報では、終日雨…。今日も雨具フル装備で出発しました。ところが、鬼池港まで雨は全く降らず、時より晴れ間も覗きました。適度なアップダウンを繰り返して、7時23分に鬼池港に着きました。思わず、一時間前のフェリーに乗船できました。熊本から長崎への移動となりました。フェリーは、ガラガラでした。地元のおじさんが船室でのんびり話していました。対岸の長崎県の口之津港へは定刻通り10時に着岸しました。雨は降っておらず、空はどんよりしていました。長崎までは、国道251号で橘湾沿いに進みました。



小浜までは、ほぼフラットでコンビニ休憩を取りました。出発直後に大粒の雨…。昨日からこの繰り返しでした。

小浜から長崎までの国道251号は、かなりハードな上りが続きました。かなり足を使い、何とか長崎まで着いた感じです。今日は市内のカプセルホテルに宿泊。めがね橋、中華街に近くアクセス抜群です。下手なホテルより系列のカプセルホテルの方が快適です。（←口之津港は大きな港でした。）



長崎市内は路面電車が行き交い、風情たっぷりの街でした。夕食は、中華街をぶらつき、長崎ちゃんぽんをいただきました。地元の方も立ち寄るような店で、これがまた美味でした。翌朝、メガネ橋を散策しました。長崎は二度目でしたが、なぜかあまり印象には残っていない街でした。

4

長崎→佐世保

平和記念像にお参り、一路佐世保へ

2021年11月12日 金曜日：

曇り一時雨

Dst:66.51km Dst2: 322.08km(積算走行距離)

Av:19.4km Mx:46.2km Tm:3時間25分03

この日は、佐世保までの移動区間でした。距離も70km以下で、雨が止むのを待って9時過ぎに長崎の宿を出発しました。

国道206号沿いの平和公園に立ち寄り、平和記念像をお参りしました。平和記念像は思った以上に大きな像で、その前の広場は意外とこじんまりしていました。社会科見学の中高生の団体がたくさん来ていました。この地域では、コロナも落ち着いているのか、繁華街もだいぶ活気がありました。東京から行くと、しっかり検温してもらい、逆に安心します。



長崎市内は、路面電車が道路を交錯するところも多く、雨上がりで滑りやすく神経を使い疲れしました。路面電車にも信号機があり、不思議な感じがしました。

国道206号は、時津町辺りまで道幅が狭く、また大型トラックが多く気を使いました。その先、大串辺りまでは右手に大村湾を見ながら、交通量も少なく幾分のんびり走れました。

小迎で国道202号に入りハウステンボス近くを通過し、江上で国道205号に入ったところで遅い昼食にしました。

着いた佐世保は、何か楽しみな街に思えました。中佐世保駅近くのホテルから夕食がてら散策してみました。国道を渡ると巨大なショッピングモールがありました。やはり佐世保バーガーを食べておくべきだったかな…。

久方ぶりのロングライド4日目、太ももが少し筋肉痛でした。早めに就寝し翌日に備えることにしました。

(←大串付近。右手は大村湾。長閑な国道でした。)



5

佐世保→伊万里

本土最西端の神崎鼻へ。目の前には大海原が。

2021年11月13日 土曜日：

晴れ

Dst:99.40km Dst2:421.49km(積算走行距離)

Av:20.6km Mx:44.4km Tm:4時間48分41



軽いモーニングを食べ、7時45分くらいにホテルを出発しました。佐世保市内は土曜日の朝にしては、そこそこの交通量がありました。最初に目指すは、本土最西端の神崎鼻。市内より約25kmほどの場所に位置しています。

佐々町で、国道204号より神崎鼻に行く県道18号への接続の分かりづらいこと。グーグルマップで現在地を確認し、細い生活道路を左に逸れ、神崎鼻への県道18号に接続で

きました。漁村を過ぎ先に神崎鼻はありました。あまり期待していなかったのですが、本土最西端の碑の先には大海原が広がり、感動ものでした。

(↑写真：神崎鼻公園の入口。車両進入禁止のため歩いて最西端のモニュメントへ)

神崎鼻では、群馬県のライダーさんと立ち話をしました。コロナ禍の一人旅では貴重な時間でした。旅の情報交換などをして、お互いに交通安全で行きましょうと別れました。

平戸大橋までの国道204号は快適な道でした。今回の旅で、初めて1日の平均速度が20km/hを超えました。平戸大橋をバックに記念撮影をして、松浦電鉄に沿った唐津街道を伊万里に向かいました。既に午後1時を回っていました。なかなかいい感じの食堂がなく、松浦市に入ってボートレースチケットショップ松浦に併設した食堂でちくわうどんを食べました。ボートレースの新聞を持った人の横で食べたうどんの美味いこと。美味でした。ギャンブルをやらないので、こんな場所もあるんだと、いい経験になりました。笑

伊万里の駅に立ち寄り、15時前にホテルに入りました。この旅、初めての洗濯の日です。いつもそんな日は、早めにチェックインします。この日は、晴れて気分良く走れました。焼き物の街・伊万里市内には伊万里焼の壺などを街中で見るがありました。

6

伊万里→博多

博多駅に無事ゴール。今日見た海もきれいだった…。

2021年11月14日 日曜日：

曇りのち晴れ

Dst:78.64km Dst2:500.13km(積算走行距離)

Av:22.8km Mx:41.3km Tm:3時間26分31

朝、ホテルの窓から外を見ると、何と雨が…。

今日は、最終目的地の博多まで70km程の道のり。天気予報では、10時くらいから回復しそうでした。ここは、じっくりと腰を据え、天候の回復を待って出発することにしました。雨が上がったのを確認してスタートを切りました。



博多までは唐津経由で、国道202号をただひたすら走ります。坂ばかりの長崎県を走ってきたからか、博多までほぼフラットで平均速度も上がりました。唐津市から糸島市の間は海岸線に沿って進み、海がとてもきれいでした。特に姉子の浜は白い砂浜が広がり、休憩スポットでは、多くのライダーが休んでいました。

糸島市で昼休憩を取り、ゴールの博多駅に向かいました。少し前

まで閑散とした天草にいたのが嘘の様な大都会・博多でした。日曜日の午後ということか、糸島市から博多駅まで断続的に渋滞しており、予想以上に時間がかかり、博多駅には午後3時過ぎに到着しました。巨大過ぎるターミナル駅でした。(↑写真：ターミナル駅が巨大すぎてどこが駅やら。中央の時計下に駅名を発見。)

博多駅より程近いホテルに向かい、明日に備え輪行を済ませました。福岡空港は、鉄道が乗り入れているので、助かります。翌日のフライトはお昼の便でした。6日間、鹿児島から福岡の博多まで何とか走りきりました。コロナ禍での1年半のブランクで体力がかなり落ちていました。今回の収穫は、6日間連続で約500km走れたことに尽きます。本土最西端の神崎鼻に到達し、残すところは最東端の納沙布岬。本土東西南北端制覇となります。ただ、コロナの第6波でまた先延ばしになるかもしれません。コロナ禍で、長期休暇を入れていても、先の見通しが立たず、計画通りにいかないのが現状です。

走行データ

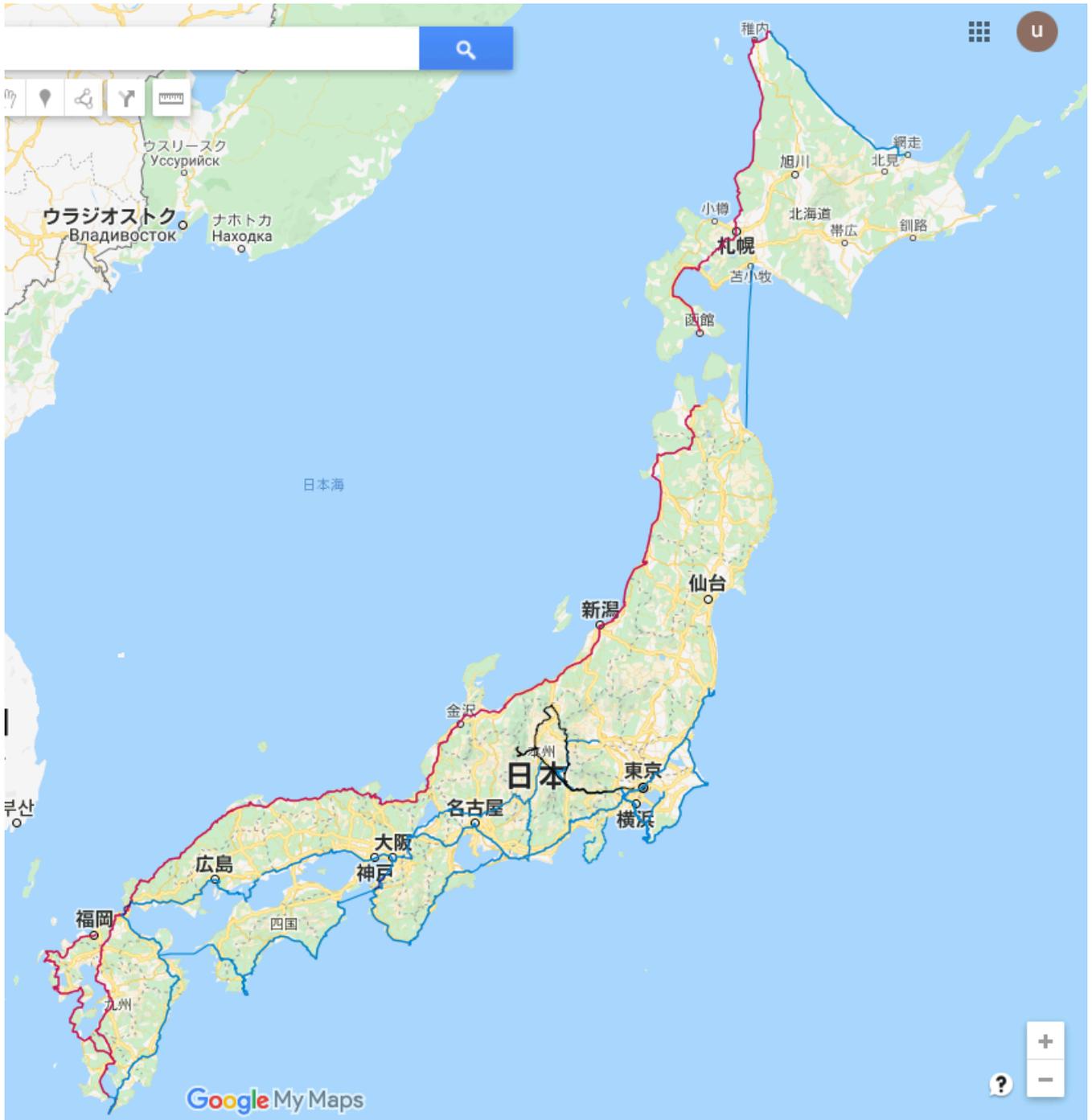
日付 R3	出発地	目的地	通過都 道府県	天気 気温 *)☔の 日	走行距離 獲得標高(参 考データ)	積算走行 距離	平均速 度 *)20k m/h未 満	最高速 度	走行時 間	宿泊先	
1	11/9	鹿児島空港	出水市	鹿児島	☁時々 ☔ 17.1°C	70.88km 獲得標高: 814m	70.88km	19.2k m/h	46.0k m/h	3時間 40分	OYOホテル 出水湯泉宿 泊センター 宿の評価:△
2	11/10	出水市	天草下田 温泉	鹿児 島、熊 本	☁時々 ☔ 16.7°C	89.22km 獲得標高: 970m	160.10k m	17.2k m/h	43.8k m/h	5時間 11分	天草下田温泉 くつろぎ の宿 マルコ 宿の評価:△
3	11/11	天草下田温 泉	長崎	熊本、 長崎	☁時々 ☔ 15.5°C	95.46km 獲得標高: 1025m	255.57k m	18.0k m/h	48.6k m/h	5時間 17分	ファーストキャビン (FIRSTCABIN)長崎 宿の評価:◎
4	11/12	長崎	佐世保	長崎、 佐賀	☁一時 ☔ 14.5°C	66.51km 獲得標高: 650m	322.08k m	19.4k m/h	46.2k m/h	3時間 25分	ホテル ビブロス 宿の評価:○
5	11/13	佐世保	伊万里	佐賀	☀ 16.7°C	99.40km 獲得標高: 565m	421.49k m	20.6k m/h	44.4k m/h	4時間 48分	HOTEL AZ 佐賀伊万里 店 宿の評価:○
6	11/14	伊万里	博多	佐賀、 福岡	☁後 ☀ 18.2°C	78.64km 獲得標高: 422m	500.13k m	22.8k m/h	41.3k m/h	3時間 26分	ホテル KKR博多 宿の評価:◎

- ・気温は参考データです。→出発地(またはその付近)のその日の最高気温を掲載。
- ・走行距離及び積算走行距離→サイクルコンピュータのデータにつき、多少の誤差あり。
- ・平均速度20km/h未満の区間は、峠越え、強風、体調?などにより、苦労した区間。
- ・宿の評価(◎=また泊まりたい、○=可もなく不可もなく、△=たぶんもう泊まらない)



博多の手前の姉子の浜は白い砂浜が広がり、休憩スポットでは、多くのライダーが休んでいました。

日本一周の足跡 (H27/2～)



← 沖縄縦断(辺戸岬→喜屋武岬)

平成27年2月に鹿児島空港をスタートし、日本縦断が始まりました。平成29年6月に宗谷岬に到達し、日本縦断を達成しました。その間、当初の計画にはなかった、太平洋側のルートも少しずつ走破し、気づくと残すところ、北海道の半分と東北の太平洋側の未走破部分を走ると「日本一周」となっていました。積算走行距離は、8,385Kmとなりました。内陸部も少しずつ走っています。内陸部は山岳ステージが多く大変ですが、また違った日本の風景が見ることができ、楽しく走っています。自分なりの日本一周のゴールは、最終的には全県走破と自由に到達可能な東西南北端(宗谷岬、波照間島、与那国島、納沙布岬)でしょうか。まだまだ、先は長いですが、のんびり走りたいと思います。

追記：地図中央部の黒線は、高校一年時サイクル仲間と信州ロングツーリングに行った時のルートです。上高地ではキャンプをしました。



アンカーRFA5 EQUIPE 105 2015年モデル
アルミロードバイク 480mm
ギアクランク 52-36T
スプロケット 12-25T 11速



今回、コロナ禍でのblankなど厳しい状況での出発でした。このライドの前にテストランとして、一泊二日で伊豆半島を一周し、体力面と以前痛めた足の具合なども確認しての旅立ちとなりました。コロナ第5波と今回の第6波の間隙を縫っての出発となりました。羽田発鹿児島行きJAL便では、空席が目立ち、三密の回避という点では安心したのですが、まだ旅行に行くのは少し早かったのかと逆に少し不安になりました。

11月の九州はこのほか暖かくて助かりました。2018年1月に鹿児島から佐多岬を經由して別府まで走る予定をあまりの寒さに、予定を変更して都城から帰京したこともありましたが、今回は、前半天気が悪く、ずっと雨具を着用していました。おまけに、鹿児島から長崎までの海沿いはアップダウンが多く、全くペースが上がりませんでした。長崎からは天気も回復し、道路もフラット基調でペースが上がり、気持ち良く走れました。

熊本の天草で見た海沿いの崎津集落の天主堂と山の上に立つ大江天主堂、レトロな長崎の中華街や路面電車、佐賀県の日本本土最西端・神崎鼻など見どころたくさんの旅となりました。時期的なものもありますが、6日間で出会ったサイクリストは数名だけでした。全て反対方向でしたので、話す機会もなく残念でした。

宿は、出水市と天草下田温泉では、残念ながら人にはお勧めできないようなところでした。長崎ではカプセルホテルに。ここが実に快適でした。繁華街に立地しているため、ロードバイクは輪行袋に収納しエントランス横に置かせていただきました。ロードバイクでの輪行は時間もかからず助かりました。佐世保は、思ったよりも大きな街で、なかなか味のある場所でした。佐世保でのホテルは、家族経営のビジネスホテルで、ロードバイクは受付横の部屋に置かせていただきました。伊万里ではチェーン展開するビジネスホテル、博多は結婚式場があるような立派なホテルでした。この旅ではいろいろな宿に泊まりましたが、YHに泊まる機会はありませんでした。

装備面では、アンカーのロードバイクを持ち出し、パンクなどを含めてメカトラブルはありませんでした。雨が降っていても気温が低いわけではなかったため、準冬用のウェアでも寒いといったことはありませんでした。今回も雨天用のブーツカバーが活躍しましたが、土砂降りになると浸みてきてしまい、靴下の上にコンビニ袋を被せ、シューズを履きドライな状態を保つことにしました。

今後の計画は、コロナの状況次第ですが、出来れば今年の初夏、「網走～苫小牧～(フェリー)～八戸～いわき」間を一気に走り、日本縦断の太平洋側のルート(宗谷岬→佐多岬)を達成したいと思っています。その間、納沙布岬(日本本土最東端)に立ち寄れば、日本本土東西南北端の達成になります。日本海ルート、太平洋ルートと一部区間を除いて、ほぼ時計回りに日本を一周したことになります。これで一応目処をつけ、次は違った形で新しいルートを走破していきたいです。

以上。